



Atsuko Kudo Mail Magazine 245

2021.09.05 ●からっぽに

ハレルヤ！

お元気でいらっしゃいますか？

札幌は、コスモスが風に揺れる季節になりました。
皆さまのお祈りとご支援に心から感謝しています。

7月下旬に大阪から札幌に戻り、しばらくこちらに滞在しました。

札幌では父の野菜作りのちょっとした手伝いなどもしましたが、大きな祈りの課題もあり、
8月は多くの時間をみことばと祈りに充てました。

●空っぽに

この時期、主から、多くのことを語られました。その一つが「空っぽになりなさい」、そして「そうすれば、わたしの力をあなたに注ぐ」でした。空っぽになるには、まず、肉の欲、肉の思い、目の欲、暮らし向きの自慢などから離れること、肉から来る習慣・生き方を一変させることだと思いました。そうしましたら、まあ本当に、細かいところで、たくさんの肉から来る習慣、肉の思い・行いあることが見えてきました。

例えば、二年前の実家の新築に伴い、さまざまな家の必需品を揃えて行くうちに、もっと状態の良いもの、もっと便利なもの、もっときれいなものが欲しくなり、私の中にいくつかのものを買い替えようとする思いが働くようになっていました。そこで、ネットでいろいろ調べるわけですが、もともと儉約家な私は（といっても家のものは父のお金で買っていますが）、なかなか簡単に買い替えることができないのです。何という無駄な時間を費やしてきたことかと悔い改めさせられ、今あるもので満足するところに引き戻されました。

その他、気が付かずにくっついてしまったものを切り離し、心してそこから離れるチャレンジをしました。古い人（肉の人）を脱ぎ捨て、新しい人（霊の人）を着ることは、みことばに従う信仰生活の基本中の基本ですが、この基本を、いつも確認して行く必要があると思いました。

●チャリティー・コンサート（11月7日）

ニュースレターやメールでお伝えしてきましたように、11月7日（日）、大阪府堺市の、なかもず駅すぐそばの教会「チャペル・こひつじ」にて、ミャンマー支援のチャリティー・コンサートを開催する予定です。現在、コンサートの流れを考えながら、プログラムを練っているところです。ふさわしい選曲が出来ますようお願いください。今月末にはチラシが仕上がる予定ですので、追って添付でお送りいたします。

AKWMがこれまで支援を続けてきたミャンマーは、混乱が一層広がっています。ミャンマーには、すでに長期に及んで帰還を望んでいる100万人以上の難民がいますが、2月1日の軍のクーデター以来、さらに多くの人々が避難を強いられる状況になりました。避難を免れている住民たちも、もともと貧しかったのがさらに貧しくなり、コロナの感染拡大で必要な治療を受けることもできず、多くの死者が出ています。

ミャンマーの現状については、2週間前に放送された、NHKスペシャル（武器を取る若者たち/混迷軍弾圧の闇に迫る）を是非見ていただきたいと思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=uwCQiSxiy-w>

皆さま、どうかミャンマーのためにお祈りください。

また、8月14日に大地震が起きたハイチ（被災者120万人、犠牲者20万人、現在50万人以上が水不足・不衛生によりコレラなどの感染症の危機に瀕している）、アフガニスタン問題、米東部の洪水など、本当に、聖書に書かれている、終わりの時に近づいている予兆が世界各地で頻繁に起こるようになりました。心を合わせて祈り、また「御国の福音」を宣べ伝えてまいりましょう！

●今後の予定

・9月9日に、2週間の予定で大阪に行き、祈祷会、聖書の学び会、賛美レッスン、秋のコンサートの準備をする予定です。

・賛美レッスンは、現在、月に一度、大阪の教会をお借りして、十分な距離を保って行っています。ご希望の方は、事務局までお問合せください。

皆さまに、主の豊かな祝福と守りがありますように！

Atsuko Kudo